



ハードウェア リファレンス ガイド HP Compaq Business Desktop dx2000 ST

製品番号 : 366403-291

2004年6月

このガイドでは、このコンピュータの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft、MS-DOS、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentium、Intel Inside、およびCeleronは、米国Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、およびAcrobat Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェア リファレンス ガイド
HP Compaq Business Desktop dx2000 ST
初版 2004年6月
製品番号：366403-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 コンピュータの機能

| | |
|-------------|-----|
| 標準構成の機能 | 1-1 |
| フロント パネルの各部 | 1-2 |
| リア パネルの各部 | 1-3 |
| キーボード | 1-4 |
| Windowsロゴキー | 1-5 |
| マウスの特殊機能 | 1-6 |
| シリアル番号の記載位置 | 1-6 |

2 ハードウェアのアップグレード

| | |
|---------------------------------|------|
| 保守機能 | 2-1 |
| 警告および注意 | 2-1 |
| コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルの取り外し | 2-2 |
| メモリの増設 | 2-6 |
| DIMM | 2-6 |
| DDR-SDRAM DIMM | 2-6 |
| DIMMソケット | 2-7 |
| 拡張カードの取り付け | 2-12 |
| ドライブの増設 | 2-15 |
| ドライブの位置 | 2-16 |
| オプティカル ドライブまたはディスク ドライブの取り外し | 2-17 |
| 別売のオプティカル ドライブの取り付け | 2-19 |
| ハードディスク ドライブのアップグレード | 2-22 |

A 仕様

B PATAハードディスク ドライブの取り付け

| | |
|----------------------------------|-----|
| パラレルATA (PATA) デバイスのケーブル セレクト 機能 | B-1 |
| PATAドライブの取り付けのガイドライン | B-2 |

C バッテリーの交換

D セキュリティ ロック

| | |
|-----------------|-----|
| セキュリティ ロックの取り付け | D-1 |
|-----------------|-----|

E ポート セキュリティ ブラケット

| | |
|-----------------------------|-----|
| ポート セキュリティ ブラケットの取り付け | E-1 |
| ポート セキュリティ ブラケットの取り外し | E-4 |

F 静電気対策

| | |
|-------------------|-----|
| 静電気による損傷の防止 | F-1 |
| アースの方法 | F-2 |

G コンピュータの手入れと運搬時の注意

| | |
|--------------------------|-----|
| コンピュータの手入れ | G-1 |
| オプティカル ドライブの使用上の注意 | G-2 |
| 操作および取り扱いに関する注意 | G-2 |
| クリーニングの際の注意 | G-2 |
| 安全にお使いいただくためのご注意 | G-2 |
| 運搬時の注意 | G-3 |

索引

コンピュータの機能

標準構成の機能

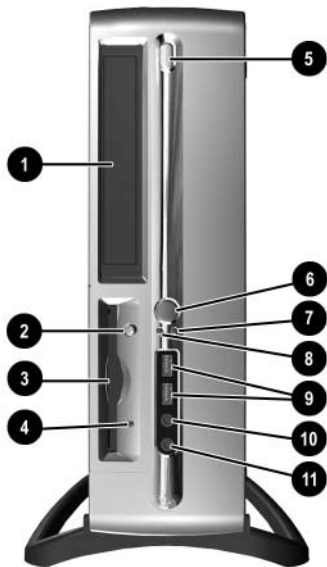
HP Compaq dx2000 STの機能は、モデルにより異なる場合があります。お使いのコンピュータに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、[Diagnostics for Windows]ユーティリティを実行します。このユーティリティの使用手順については、Documentation CD（ドキュメンテーションCD）に収録されている『トラブルシューティングガイド』を参照してください。



dx2000 STの構成

フロント パネルの各部

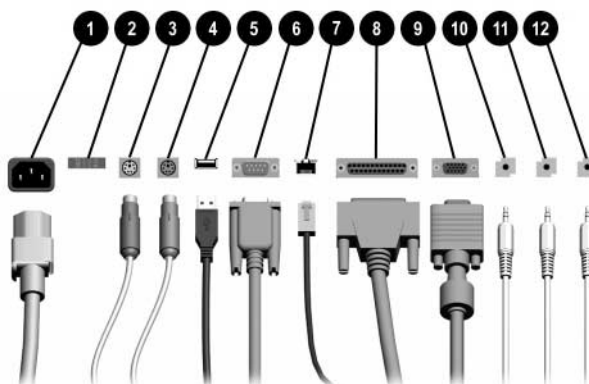
ドライブの構成はモデルによって異なります。



フロント パネルの各部

| | | | |
|---|----------------------|---|------------------------------|
| ❶ | オプティカルドライブ | ❷ | 電源ランプ |
| ❸ | ディスク取り出しボタン（オプション） | ❸ | ハードディスクドライブ ランプ |
| ❹ | ディスク ドライブ（オプション） | ❹ | USB（Universal Serial Bus）ポート |
| ❺ | ディスク ドライブ ランプ（オプション） | ❺ | ヘッドフォン コネクタ |
| ❻ | オプティカル ディスク取り出しボタン | ❻ | マイク コネクタ |
| ❼ | 電源ボタン | | |

リア パネルの各部



リア パネルの各部

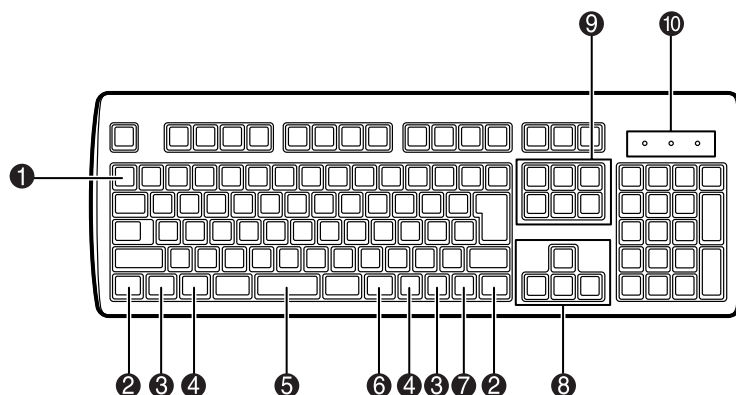
| | | | |
|---|-----------------------------------|---|----------------------|
| ① | 電源コード コネクタ | ⑦ | 🌐 RJ-45ネットワーク コネクタ |
| ② | 電圧選択スイッチ | ⑧ | 🖨️ パラレル コネクタ |
| ③ | 🖱️ PS/2マウス コネクタ | ⑨ | 🖥️ モニタ コネクタ |
| ④ | 🖱️ PS/2キーボード コネクタ | ⑩ | 🎧 ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ |
| ⑤ | 🔌 USB (Universal Serial Bus) コネクタ | ⑪ | 🎵 ラインイン オーディオ コネクタ |
| ⑥ | 📡 IO/IO シリアル コネクタ | ⑫ | 🎤 マイク コネクタ |




装備されているコネクタの種類や数は、モデルにより異なる場合があります。

PCIグラフィックス カードが取り付けられている場合、カードのコネクタおよびシステム ボードのコネクタを同時に使用することができます。両方のコネクタを使用するには、一部の設定をコンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティで変更する必要があります。設定を変更するには、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティで[カスタム] (Advanced) → [PCI VGAコンフィグレーション] (PCI VGA Configuration) の順に選択します。コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティについて詳しくは、Documentation CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

キーボード



キーボードの各部

| | | |
|---|--|--|
| ❶ | [半角/全角]キー | 日本語入力システムのオン/オフを切り替えます |
| ❷ | [Ctrl]キー | 別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります |
| ❸ | []キー | Microsoft® Windows® の[スタート]メニューを表示します。他の機能を実行するために他のキーと組み合わせて使用します |
| ❹ | [Alt]キー | 別のキーと組み合わせて使用します。このキーの機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります |
| ❺ | スペース バー | 日本語入力がオフのときに押すと、スペース（空白）を入力したり、ある選択肢をキーボードから選択したりできます。日本語入力がオンのときに入力した文字を確定する前に押すと、漢字などに変換できます |
| ❻ | [カタカナ ひらがな]キー | 日本語入力がオンのときに [Alt] キーを押しながら [カタカナ ひらがな] キーを押すことにより、入力モード（ローマ字入力とかな入力）を切り替えられます |
| ❼ | アプリケーション キー | マウスの右ボタンと同様にMicrosoft Officeアプリケーション内でポップアップメニューを表示させるために使用します。また、他のアプリケーションソフトウェアで別の機能を実行することもできます |
| ❽ | 矢印キー | 文書ファイルやワークシート、またはWebサイト内を移動するときに使用します。マウスを使わずにキーボードのキーを押すことによって、画面内で上下左右に移動できます |
| ❾ | 編集キー | [Insert] 、 [Home] 、 [Page Up] 、 [Delete] 、 [End] および [Page Down] の各キーがあります |
| ❿ | ステータス ランプ | コンピュータおよびキーボード設定のステータスを示します（Num Lock、Caps Lock、およびScroll Lock） |

Windowsロゴ キー

Windowsロゴ キーを他のキーと組み合わせて、Windowsオペレーティング システムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。Windows ロゴ キーの位置については、「[キーボード](#)」を参照してください。

Windowsロゴ キーの機能

| | |
|---------------------------------|--|
| Windowsロゴ キー | Windowsの[スタート]メニューを表示または非表示にします |
| Windowsロゴ キー+[D] | デスクトップを表示します |
| Windowsロゴ キー+[M] | 開いているすべてのアプリケーションを最小化します |
| [Shift]+Windowsロゴ キー+[M] | 最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します |
| Windowsロゴ キー+[E] | エクスプローラの[マイ コンピュータ]を起動します |
| Windowsロゴ キー+[F] | ファイルやフォルダの検索を起動します |
| Windowsロゴ キー+[Ctrl]+[F] | ほかのコンピュータの検索を起動します |
| Windowsロゴ キー+[F1] | Windowsのヘルプ画面を表示します |
| Windowsロゴ キー+[L] | ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピュータがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザの切り替えが可能になります |
| Windowsロゴ キー+[R] | [ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します |
| Windowsロゴ キー+[U] | ユーティリティ マネージャを起動します |
| Windowsロゴ キー+[Tab] | タスクバーのボタンを切り替えます |

マウスの特殊機能

ほとんどのソフトウェア アプリケーションはマウスをサポートしていますが、マウス ボタンに割り当てられる機能は、使用しているソフトウェア アプリケーションによって異なります。

シリアル番号の記載位置

各コンピュータには固有のシリアル番号が付いています。このシリアル番号は、コンピュータ本体のカバーの上部またはリア パネルに記載されています。HPのサポート窓口へのお問い合わせの際には、この番号をお手元に用意しておいてください。



シリアル番号の記載位置

ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピュータには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使う必要がありません。



通気を確保するため、コンピュータの周囲10.2 cm以内に障害物がないようにしてください。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。



警告：感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、および本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



警告：感電や火災が発生したり、装置を損傷したりする場合がありますので、電話回線のモジュラ ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、このガイドの「[付録F 静電気対策](#)」を参照してください。



注意：コンピュータのアクセス パネルを取り外す前に、コンピュータの電源が切られ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。

コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルの取り外し

コンピュータのアクセス パネルを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントおよびコンピュータから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。



注意：コンピュータのアクセス パネルを取り外す前に、コンピュータの電源が切られ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。



コンピュータのアクセス パネルを取り外してハードウェアを取り付ける前に、アクセス パネルが上になるようにコンピュータを横向きに置きます。

3. コンピュータ スタンドの後部にあるネジを取り外します❶。
4. コンピュータをスタンドから持ち上げて取り外し❷、横向きに置きます。



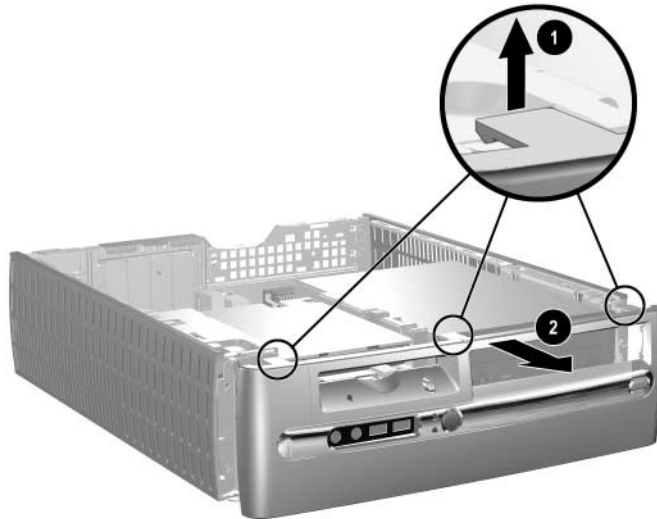
コンピュータ スタンドからのコンピュータの取り外し

5. カバー ラッチを引き上げたままにし①、コンピュータのアクセス パネルの固定を解除します。
6. コンピュータのアクセス パネルを後方へ約1.3 cmスライドさせてから②持ち上げて、シャーシから取り外します。



コンピュータのアクセス パネルの取り外し

7. フロント パネルを取り外すには、パネル上部にある3つのタブをゆっくりと引き上げ①、パネルをシャーシから引き離します②。



フロント パネルの取り外し

コンピュータを組み立てなおすには、上記の手順を逆の順序で実行します。



アクセス パネルを取り付けなおすときは、押し下げのようにします。詳しくは、アクセス パネルの内側のラベルを参照してください。



フロント パネルを取り付けなおすには、パネルの下部にある2つのタブをシャーシに差し込み、カチッという音がするまでフロント パネルを前方に傾けて、パネルの上部にある3つのタブを所定の位置に固定します。

メモリの増設

お使いのコンピュータは、ダブルデータレートシンクロナスDRAM (DDR-SDRAM) デュアルインラインメモリモジュール (DIMM) を装備しています。

DIMM

システムボード上にあるメモリソケットには、業界標準のDIMMを4つまで取り付けることができます。これらのメモリソケットには、少なくとも1つのDIMMが標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするために、高性能デュアルチャネルモードでコンフィギュレーションされたメモリを4GBまで増設できます。

DDR-SDRAM DIMM

お使いのコンピュータでDDR-SDRAM DIMMがサポートされている場合、システムを正常に動作させるためには、必ず以下の条件を満たすDIMMを使用してください。

- 業界標準の184ピン
- アンバッファードPC2100 266 MHz、PC2700 333 MHz、またはPC3200 400 MHzに準拠している
- 2.5ボルトDDR-SDRAM DIMM

DDR-SDRAM DIMMは、以下の条件も満たしている必要があります。

- CASレイテンシが2.0または2.5 (CL=2.0またはCL=2.5) の動作をサポートしている
- JEDECのSPD情報が含まれている

さらに、お使いのコンピュータでは以下の機能やデバイスがサポートされません。

- 128メガビット、256メガビット、および512メガビットの非ECCメモリテクノロジー
- 片面および両面DIMM

- ×8および×16 DDRデバイスで構成されたDIMM。×4 SDRAMで構成されたDIMMはサポートされない

サポートされるメモリ周波数でシステムを動作させるには、以下のプロセッサ バス周波数が必要になります。

| メモリ周波数 | 必要なプロセッサ バス周波数 |
|---------|----------------------------|
| 266 MHz | 400 MHz、533 MHz、または800 MHz |
| 333 MHz | 533 MHzまたは800 MHz |
| 400 MHz | 800 MHz |

メモリ周波数が、サポートされないプロセッサ バス周波数とペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度で動作します。たとえば、333 MHzのDIMMが400 MHzのプロセッサ バスとペアになっている場合、システムはサポートされる最高のメモリ速度である266 MHzで動作します。



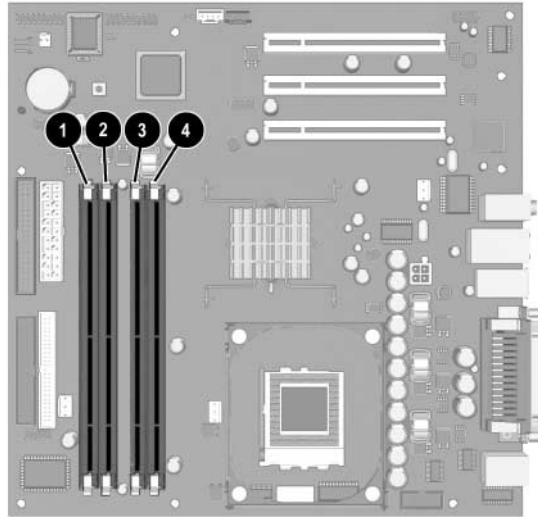
サポートされないDIMMが取り付けられている場合、システムは起動しません。

DIMMソケット

取り付けられているDIMMに応じて、システムは自動的にシングル チャネルモードまたはより高性能なデュアル チャネル モードで動作します。

- シングル チャネル モードでは、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いDIMMによって決定されます。たとえば、システムに266 MHzのDIMMおよび333 MHzのDIMMが取り付けられている場合、システムは2つのDIMMのうち遅い方の速度で動作します。
- デュアル チャネル モードでは、DIMM同士を同じものにする必要があります。黒いXMM1ソケットとXMM3ソケット同士、および青いXMM2ソケットとXMM4ソケット同士に同じDIMMを取り付ける必要があります。このため、XMM1ソケットにDIMMが1つ取り付けられているときに2つ目のDIMMを増設する場合は、XMM1ソケットのDIMMと同じものをXMM3ソケットに取り付けることをお勧めします。4基のDIMMソケットすべてにDIMMを取り付ける場合は、各ソケットに同じDIMMを使用してください。他の種類のDIMMを使用すると、システムがデュアル チャネル モードで動作しません。

システム ボードには4つのDIMMソケットがあり、1つのチャンネルにつき2つのソケットがあります。ソケットにはXMM1、XMM2、XMM3、およびXMM4の番号が付けられています。ソケットXMM1およびXMM2はメモリ チャンネルAで動作し、ソケットXMM3およびXMM4はメモリ チャンネルBで動作します。



DIMMソケットの位置

| 番号 | 説明 | ソケットの色 |
|----|---------------------|--------|
| ① | DIMMソケットXMM4、チャンネルB | 青 |
| ② | DIMMソケットXMM3、チャンネルB | 黒 |
| ③ | DIMMソケットXMM2、チャンネルA | 青 |
| ④ | DIMMソケットXMM1、チャンネルA | 黒 |

DDR-SDRAM DIMMの取り付け



注意：お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリをアップグレードする際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションのカードが破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「[付録F 静電気対策](#)」を参照してください。



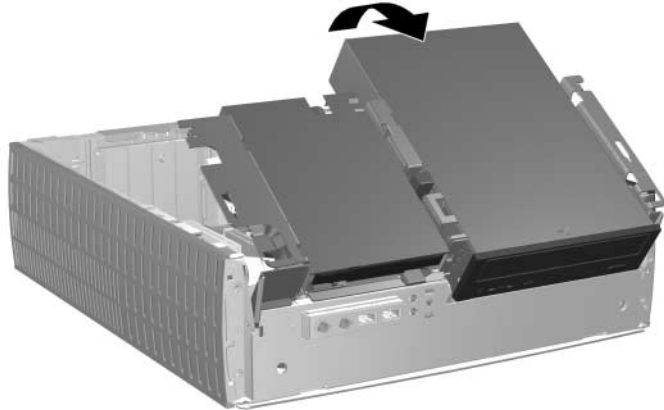
注意：モジュールの破損を防止するため、メモリ モジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルを取り外します。



注意：損傷を防ぐために、イージー アクセス ドライブ ベイを持ち上げたり下ろしたりする前に、すべてのケーブルと配線の位置を確認してください。

4. イージー アクセス ドライブ ベイを、直立の位置まで持ち上げます。



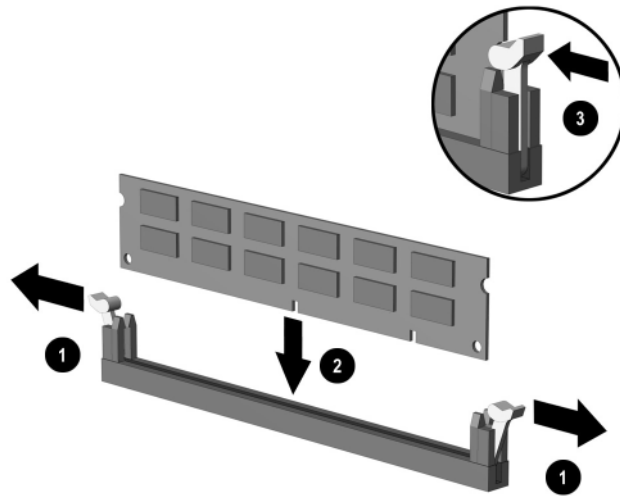
イージー アクセス ドライブ ベイを持ち上げる

5. メモリ モジュール ソケットの位置を確認します。



警告：火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

6. メモリ モジュール ソケットの両方のラッチを開き①、メモリ モジュールをソケットに差し込みます②。



DIMMの取り付け



メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。モジュールのノッチ（切れ目）をメモリ ソケットのタブに合わせます。



XMM1 ソケットにDIMMが1つ取り付けられているときに2つ目のDIMMを増設する場合は、XMM1 ソケットのDIMMと同じものをXMM3ソケットに取り付けることをお勧めします。4基のDIMMソケットすべてにDIMMを取り付ける場合は、各ソケットに同じDIMMを取り付けます。他の種類のDIMMを使用すると、コンピュータがデュアル チャネル モードで動作しません。

7. モジュールをソケットに押し入れ、モジュールが完全に挿入されて正しく収まっていること、およびラッチが閉じていること③を確認します。

8. 取り付けるすべてのモジュールに対して、手順7および手順8を繰り返します。
9. イージー アクセス ドライブ ベイを下ろして、元の位置に戻します。イージー アクセス ドライブ ベイを下ろすときに、シャーシ内のケーブルを挟まないように注意してください。
10. フロント パネルおよびコンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。

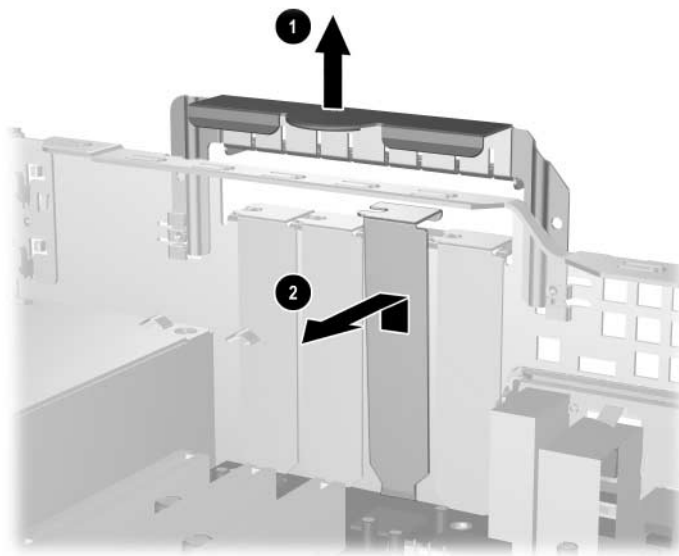
次回コンピュータの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

拡張カードの取り付け

お使いのコンピュータには、3基のPCI拡張スロットがあります。各スロットには、長さが最大17.5 cmの拡張カードを取り付けることができます。以下の手順に従って、拡張カードを取り付けます。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
4. 拡張カードを挿入するスロットの位置を確認します。

5. スロット カバーを固定しているスロット カバー固定ラッチを引き上げて、ラッチを外します❶。
6. スロット カバーを引き上げ、シャーシの内側の方向に引いて取り外します❷。

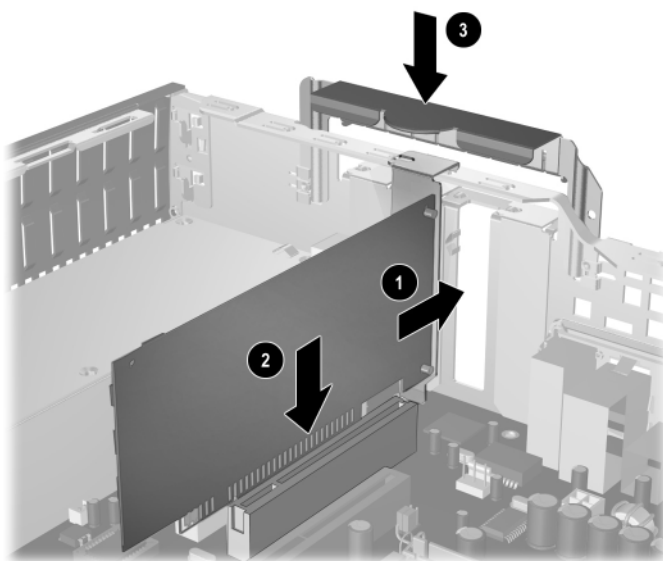


拡張スロット カバーの取り外し

7. スロット カバー固定ラッチの下に拡張カードをゆっくりと挿入し①、コネクタにしっかりと押し込んで②、拡張カードを取り付けます。拡張カード スロットに拡張カードがしっかりと正しく取り付けられていることを確認してください。



拡張カードを取り付けるときに、シャーシ内の他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。



拡張カードの取り付け

8. スロット カバー固定ラッチを押し下げて③元の位置に戻し、拡張カードを所定の位置に固定します。
9. 取り外した拡張カードを新しい拡張カードと交換しない場合は、空いたスロットを閉じるために、拡張スロット カバーを取り付けます。金属製のスロット カバーを空いたスロットに差し込み、スロット カバー固定ラッチを押し下げて、スロット カバーを所定の位置に固定します。



注意：拡張カードを取り外したら、コンピュータ内部の温度が上がりすぎないようにするために、新しいカードと交換するか空いたスロットを金属製のスロット カバーなどでふさいでください。

ドライブの増設

お使いのコンピュータには、外付けドライブ ベイが2つ装備されています。ドライブを増設する際には、以下のガイドラインに従ってください。

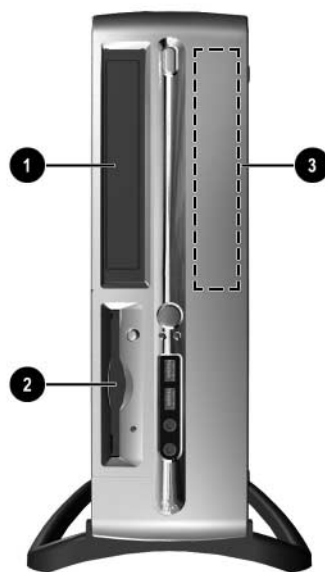
- 最適なパフォーマンスを得るため、ハードディスク ドライブを増設する場合はプライマリ コントローラに接続します。オプティカル ドライブ、IDEテープ ドライブ、およびディスケット ドライブなどの拡張デバイスは、80芯IDEケーブルを使用して、セカンダリ コントローラに接続します。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。予備のガイド用ネジ (No.6-32インチネジ4本およびM3メートル式ネジ (ミリネジ) 4本) がシャーシの前面 (フロント パネルの裏) に付属しています。ハードディスク ドライブにはNo.6-32インチネジを使用し、その他のドライブにはM3ミリネジを使用します。ミリネジは黒く、インチネジは銀色です。



注意：データの損失およびコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ハードディスク ドライブを着脱する場合は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティング システムを終了し、コンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。
- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、「[付録F 静電気対策](#)」を参照してください。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニターやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
- ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。

ドライブの位置



デスクトップ コンピュータのドライブの位置

-
- ❶ 5.25インチ ドライブ ベイ : オプション ドライブ 用
 - ❷ 3.5インチ ドライブ ベイ (図はオプションの1.44 MB ディスケット ドライブ) *
 - ❸ 3.5インチ ドライブ ベイ : 内蔵ハードディスク ドライブ 用
-

*コンピュータに1.44 MB ディスケット ドライブが取り付けられている場合、図に示すようにディスク ドライブ カバーが装備されます。コンピュータに空の3.5インチ ドライブ ベイが含まれる場合、コンピュータには代わりにドライブ ベイ カバーが装備されます。

コンピュータに取り付けられている記憶装置の種類、サイズ、および容量を確認するには、コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを実行します。詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

オプティカル ドライブまたはディスク ドライブの取り外し



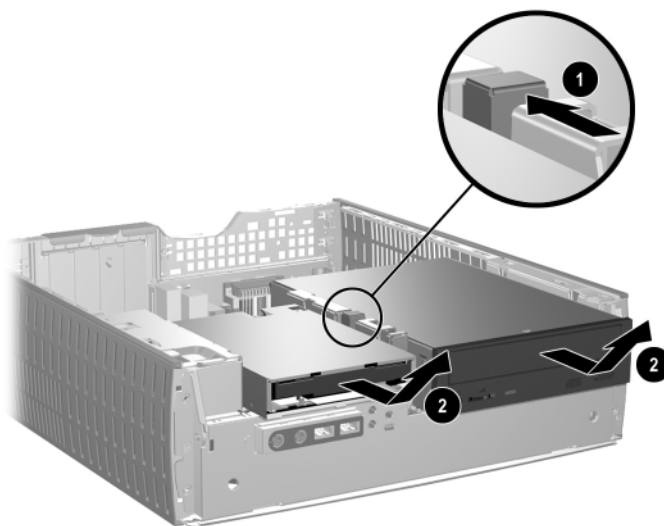
注意: コンピュータからドライブを取り外す前に、すべてのリムーバブルメディアを取り出しておく必要があります。



オプティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、またはCD-RW/DVDコンボ ドライブを指します。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルを取り外します。
4. イージー アクセス ドライブ ベイを、直立の位置まで持ち上げます。
5. オーディオ、信号、およびドライブ電源の各ケーブルを抜きます。オーディオ ケーブルのもう一方の端は、システム ボードにあるオーディオ コネクタに接続したままにしておく必要があります。
6. イージー アクセス ドライブ ベイを下ろして、元の位置に戻します。

7. ドライブのリリース ラッチをシャーシの背面の方向に押したままにします❶。
8. ドライブ ケージの前面の方向にドライブをスライドさせ❷、ドライブをコンピュータから持ち上げて取り外します。



オプティカルドライブまたはディスク ドライブの取り外し
ドライブを取り付けなおすには、取り外しの手順を逆の順序で実行します。



ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。

別売のオプティカルドライブの取り付け

以下の手順に従って、別売のオプティカルドライブを取り付けます。

1. 取り付けられているオプティカルドライブがある場合は取り外します。
2. ドライブの両側の下部にある穴に、2本ずつガイド用ネジを取り付けます。



注意：長さ3/16インチまたは5 mmのガイド用ネジのみを使用してください。それより長いネジを使用すると、ドライブの内部部品が破損するおそれがあります。

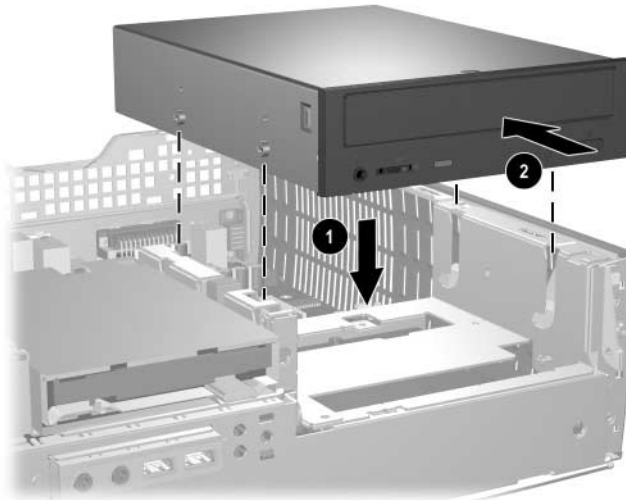


ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。



オプティカルドライブへのガイド用ネジの取り付け

3. ドライブのガイド用ネジの位置をドライブ ベイ内のJ字型のスロットの位置に合わせます❶。次に、ドライブをコンピュータの背面の方向にスライドさせます❷。

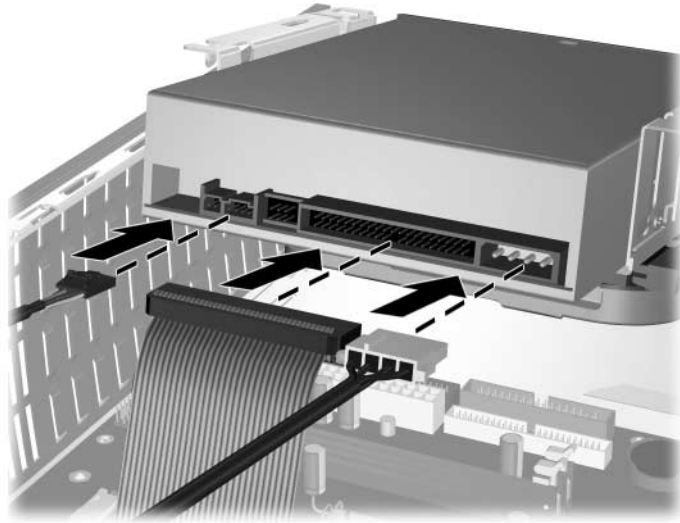


オプティカルドライブの取り付け



ドライブを取り付けるときに、ドライブのリリース ラッチが自動的に正しい位置にロックされます。

4. イージー アクセス ドライブ ベイを直立の位置まで持ち上げ、フラット リボン ケーブルおよびオーディオ ケーブルをシステム ボードに接続します。
5. 電源ケーブル、フラット リボン ケーブル、およびオーディオ ケーブルをオプティカル ドライブの背面に接続します。



電源ケーブル、フラット リボン ケーブル、およびオーディオ ケーブルの接続

6. イージー アクセス ドライブ ベイを下ろして、元の位置に戻します。イージー アクセス ドライブ ベイを下ろすときに、シャーシ内のケーブルを挟まないように注意してください。
7. フロント パネルおよびコンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。

システムによってドライブが自動的に認識され、コンピュータが再度コンフィギュレーションされます。



注意：コンピュータを取り扱う際、組み立てなおすときにケーブルが正しい位置にあることを確認してください。ケーブルを誤った場所に接続すると、コンピュータが損傷するおそれがあります。

ハードディスク ドライブのアップグレード

ハードディスク ドライブの取り外しおよび取り付け



このコンピュータには、パラレルATA (PATA) ハードディスク ドライブのみ取り付けすることができます。

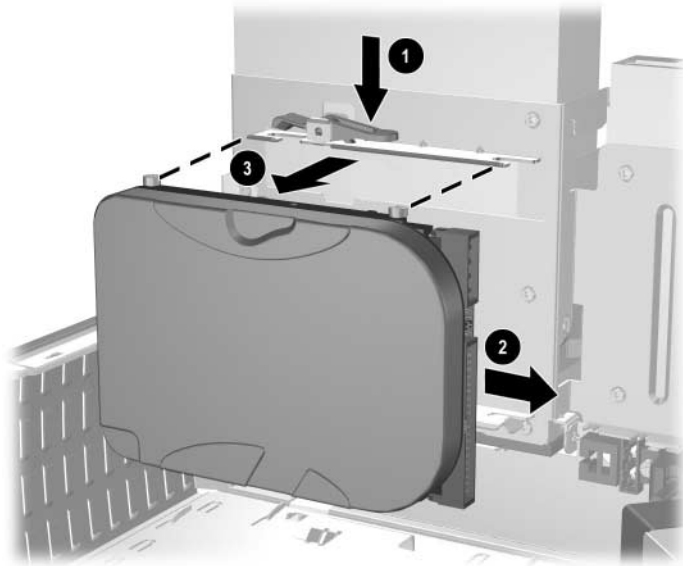


新しいハードディスク ドライブにデータを移動できるように、ハードディスク ドライブを取り外す前にドライブ内のデータをバックアップしてください。

あらかじめ取り付けられている3.5インチのハードディスク ドライブは、コンピュータの右側にあります。以下の手順に従って、ドライブの取り外しと取り付けを行います。

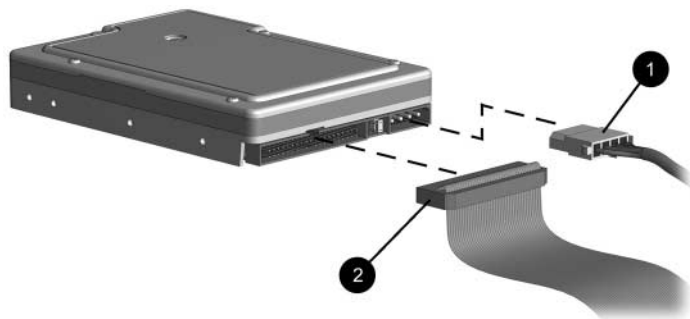
1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルを取り外します。
4. イージー アクセス ドライブ ベイを、直立の位置まで持ち上げます。
5. 電源ケーブルおよびデータ ケーブルをドライブの背面から抜き取ります。

6. ドライブのリリース ラッチを押したままにします①。
7. ドライブをベイの右側の方向にスライドさせて②、ドライブをベイから引き離します③。



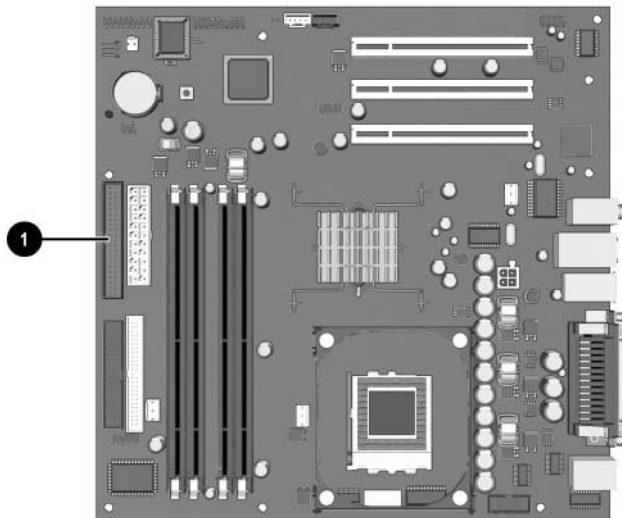
ハードディスク ドライブの取り外し（コネクタは図と異なる場合があります）

8. ハードディスク ドライブを取り付けるには、上記の手順を逆の順序で実行します。
9. 電源ケーブル①およびデータ ケーブル②をハードディスク ドライブに接続します。



データ ケーブルおよび電源ケーブルの接続（PATAハードディスク ドライブ）

10. データ ケーブルのもう一方の端をシステム ボードの適切なコネクタ①に接続します。



ハードディスク ドライブ コネクタの位置



ハードディスク ドライブを交換する場合は、元のドライブの4本のネジを新しいドライブに取り付けます。これらのネジによってドライブの位置が決まります。



コンピュータに自動的に認識されないPATAハードディスク ドライブを取り付けた場合は、「付録B PATAハードディスク ドライブの取り付け」を参照してください。



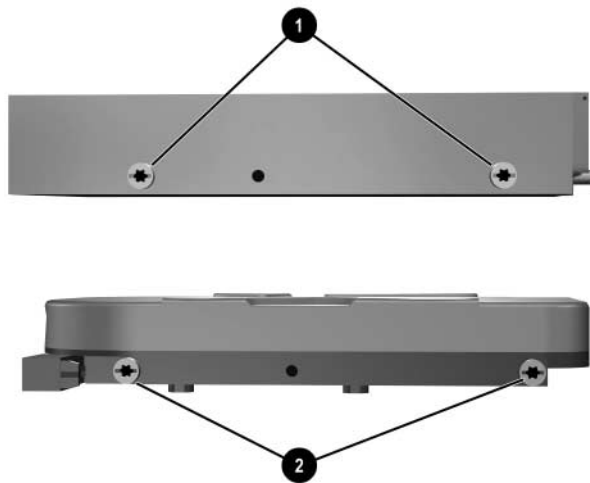
メイン ハードディスク ドライブを交換した場合は、Restore Plus! CDを挿入して、オペレーティング システムとソフトウェア ドライバ、およびコンピュータにプリインストールされていたその他のソフトウェア アプリケーションを復元します。手順については、Restore Plus! CDに収録されているガイドを参照してください。復元処理が完了したら、バックアップしておいた個人用のファイルをコンピュータにコピーしてから、ハードディスク ドライブを元に戻します。

3.5インチ ドライブ ベイへのドライブの取り付け

コンピュータの構成により、コンピュータの左側にある3.5インチ ドライブ ベイにディスク ドライブが装備されている場合と、空のままになっている場合があります。ドライブ ベイ カバーの種類は、コンピュータの元の構成によって異なります。



セカンダリ PATA ハードディスク ドライブを取り付ける場合は、デュアルヘッド ケーブルが必要です。



ガイド用ネジの位置



3.5インチディスク ドライブのガイド用ネジ①は、ハードディスク ドライブに取り付けられているガイド用ネジ②より狭い間隔で配置されています。

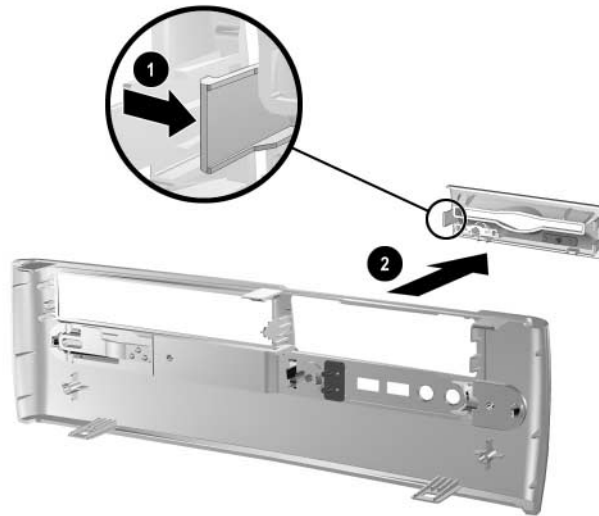
以下の手順に従って、ドライブをベイに取り付けます。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
3. コンピュータのアクセス パネルおよびフロント パネルを取り外します。

4. タブを内側に押しして①ディスク ドライブ カバーをフロント パネルから引き離し②、ディスク ドライブ カバーを取り外します。



カバーの種類はコンピュータの構成によって異なります。

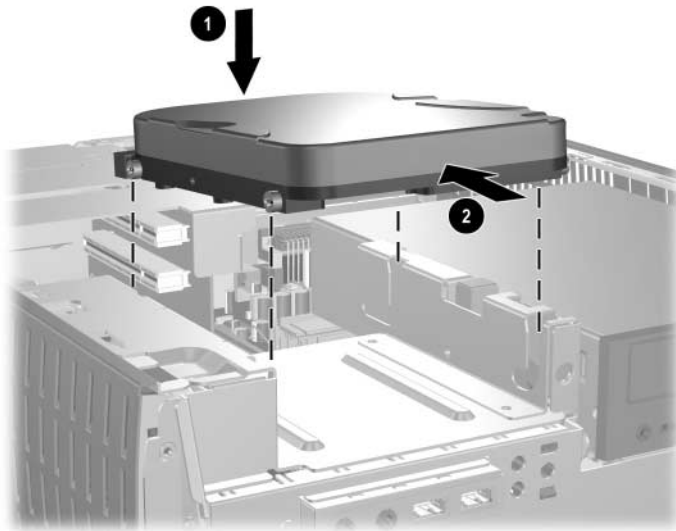


ディスク ドライブ カバーの取り外し

5. ハードディスク ドライブのガイド用ネジのうち、奥のネジを奥のJ字型のスロットに挿入します❶。手前のネジと手前のJ字型のスロットの位置が合うまで、ドライブ ケージの背面の方向にドライブをスライドさせます❷。次に、ドライブの前面を下ろします。正しい位置にロックされるまで、ドライブを後ろにスライドさせます。

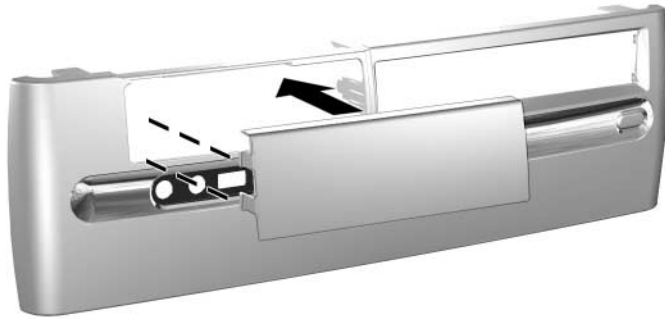


ディスク ドライブを取り付ける場合、手前および奥のガイド用ネジがJ字型のスロットの位置に合うようになります。すべてのガイド用ネジをJ字型のスロットに挿入してから、正しい位置にロックされるまでドライブをドライブ ケージの背面の方向にスライドさせます。



3.5インチ ドライブ ベイへのハードディスクドライブの取り付け

6. 適切なカバーを、正しい位置に押し込んで取り付けます。



7. 電源ケーブルおよびデータ ケーブルを接続します。
8. フロント パネルおよびコンピュータのアクセス パネルを取り付けなおします。



コンピュータに自動的に認識されないPATAハードディスク ドライブを取り付けた場合は、「[付録B PATAハードディスク ドライブの取り付け](#)」を参照してください。



通気を確保するため、コンピュータの周囲10.2 cm以内に障害物がないようにしてください。

dx2000 ST

寸法

高さ 33.8 cm

幅 10.0 cm

奥行き（コンピュータにポート セキュリティ ブラケットが装備されている場合、奥行きは増加します） 38.3 cm

質量（概算） 9.5 kg

温度範囲

動作時 10～35°C

非動作時 -30～60°C

相対湿度（結露せず）

動作時 10～90%

非動作時（38.7°C最高、湿球） 5～95%

動作保証高度（非圧縮）


動作時 3048 m

非動作時 9144 m



動作温度は、継続的に直射日光の当たらない環境で、海拔3000 mまで300 mごとに1.0°C下がります。最大変化率は10°C/時です。インストールされたオプションの種類および数によって、上限が異なります。

dx2000 ST（続き）

| | 115Vモード | 230 Vモード |
|---|-----------------|-------------------|
| 電源 | | |
| 動作電圧 | 90～132 VAC | 180～264 VAC |
| 定格電圧範囲 | 100～127 VAC | 200～240 VAC |
| 周波数 | 50/60 Hz | 50/60 Hz |
|  230 Vモードで使用する場合、このシステムでは電圧自動補正電源が採用されます。これにより、欧州連合加盟国でこのシステムを使用する場合のCEマークの要件を満たしています。 | | |
| 電源出力 | 185 W | 185 W |
| 定格入力電源（最大） | 5 A（100 VACの場合） | 2.5 A（200 VACの場合） |
| 放熱効率 | | |
| 最大 | 971 BTU/時 | 245 kg-cal/時 |
| 通常（非動作時） | 256 BTU/時 | 65 kg-cal/時 |

PATAハードディスク ドライブの取り付け

パラレルATA (PATA) デバイスのケーブル セレクト機能

別売のドライブは、オプション キットとしてHPから提供しています。このキットには、特殊なドライブ ケーブルも含まれています。ドライブのコンフィギュレーションには、ドライブをデバイス0（プライマリ ドライブ）またはデバイス1（セカンダリ ドライブ）として識別するケーブル選択機能が採用されています。

デバイス1は、ケーブルの中央コネクタに接続されたデバイスです。デバイス0は、ケーブルの端にあるコネクタに接続されたデバイスです（80芯ATAケーブルにのみ適用されます）。PATA ケーブルの使用例については、この付録の「[PATAドライブの取り付けのガイドライン](#)」を参照してください。

HPのハードディスク ドライブは、あらかじめジャンパがケーブルセレクトモードに設定されています。このため、既存のドライブまたはオプションのドライブでは、ジャンパの設定を変更する必要はありません。他社製のハードディスク ドライブを購入した場合は、キットに付属のマニュアルを参照して、ケーブルの取り付けおよび設定を正しく行ってください。



プライマリ コントローラにセカンダリ ドライブを増設する場合は、最適なパフォーマンスを得るため、80芯PATAケーブルを使用してください（モデルによってはこのケーブルが付属しています）。

PATAドライブの取り付けのガイドライン

ドライブを増設するときには、以下のガイドラインに従ってください。

- 複数のデバイスを取り付ける場合は、最適なパフォーマンスを得るために、プライマリ チャネルとセカンダリ チャネルにデバイスを分散させることをお勧めします。増設用ケーブルを使用して、増設デバイスをシステム ボードに接続します。
- 80芯PATAケーブルには次のような特徴があります。
 - 最長18インチで、デバイス0とデバイス1の間に最大6インチの間隔がとれる80芯のケーブル



80芯PATAケーブル

- | | |
|---|------------------------|
| ① | デバイス0（プライマリ ドライブ）のコネクタ |
| ② | デバイス1（セカンダリ ドライブ）のコネクタ |
| ③ | システム ボード コネクタ |

- 最適なパフォーマンスを得るために、ハードディスク ドライブは、プライマリ コントローラに接続します。ATA オプティカル ドライブやテープ ドライブなどの拡張デバイスは、セカンダリ コントローラに接続してください。
- 1/2ハイト ベイには、1/3ハイトまたは1/2ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。ハードディスク ドライブにはインチネジを使用します。予備のインチネジは、アクセス パネルの下のハードディスク ドライブ ブラケットに4本付属しています。インチネジの色は銀色です。
- ケーブルにデバイスを1つだけ接続する場合は、終端（デバイス0）のコネクタにつなげる必要があります。



デバイスを1つだけ接続する場合は、必ずデバイス0のコネクタにつなげてください。デバイス1のコネクタにつなげると、デバイスがシステムに認識されず、「no fixed disk found」というエラー メッセージが表示される場合があります。

バッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロックに電力を供給するためのものです。バッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3 Vのボタン型リチウム バッテリーです。



リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータをACコンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータがAC電源に接続されていない場合にのみ使用されます。



警告: お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や破裂などの危険があるので以下のことを守ってください。

- バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーを60℃を超える場所に放置しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 交換用のバッテリーは、必ずHPが指定したものを使用してください。



注意: バッテリーを交換する前に、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されたりするときに、CMOS設定がクリアされます。CMOS設定のバックアップ作成については、Documentation CDに収録されている『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。



バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外して、コンピュータのアクセス パネルを取り外します。

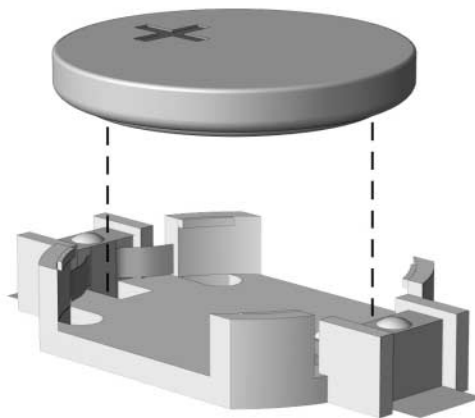


バッテリーを交換する際に、拡張ボードを取り外す必要がある場合があります。

2. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダの位置を確認します。
3. システム ボード上のバッテリー ホルダのタイプに応じて、以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

タイプ1

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。

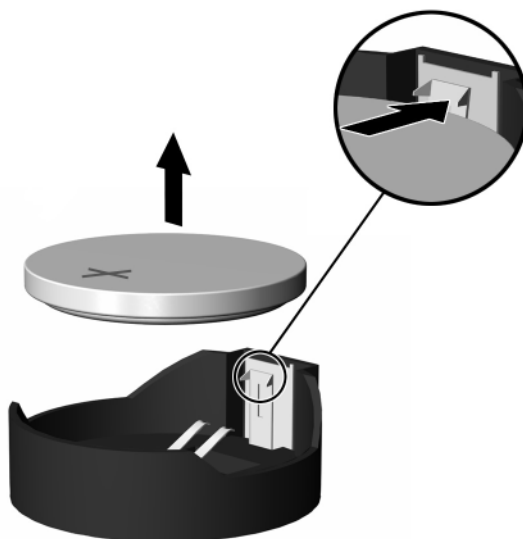


ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ1）

- b. 交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にして正しい位置に装着します。バッテリーはバッテリー ホルダによって自動的に正しい位置に固定されます。

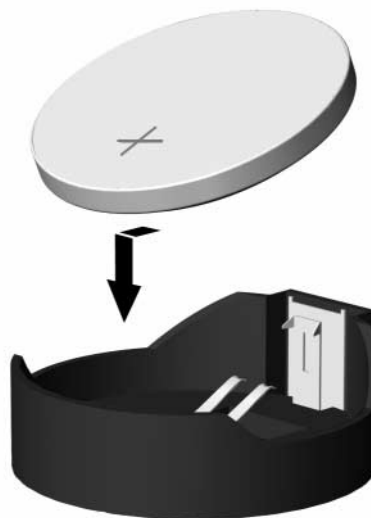
タイプ2

- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。
- b. バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて取り出します。



ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ2）

- c. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを、「+」と書かれている面を上にしてホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます。



ボタン型バッテリーの交換（タイプ2）



バッテリーを交換したら、以下の手順で操作して交換作業を完了します。

4. コンピュータのアクセス パネルを、元のとおりに取り付けます。
5. 電源コードを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
6. コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定します。詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

セキュリティ ロック

セキュリティ ロックの取り付け

下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピュータを保護するために使用できます。



セキュリティ ロック ケーブルがある場合は、下の図に示す位置に差し込みます。ケーブル ロックは、2番目の穴（下の図の黒く塗りつぶされている位置）にも差し込むことができます。



ケーブル ロックの取り付け

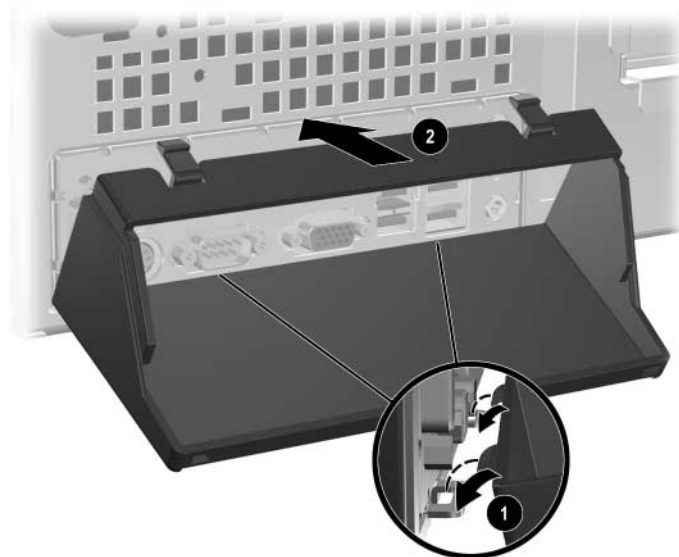


コンピュータの施錠

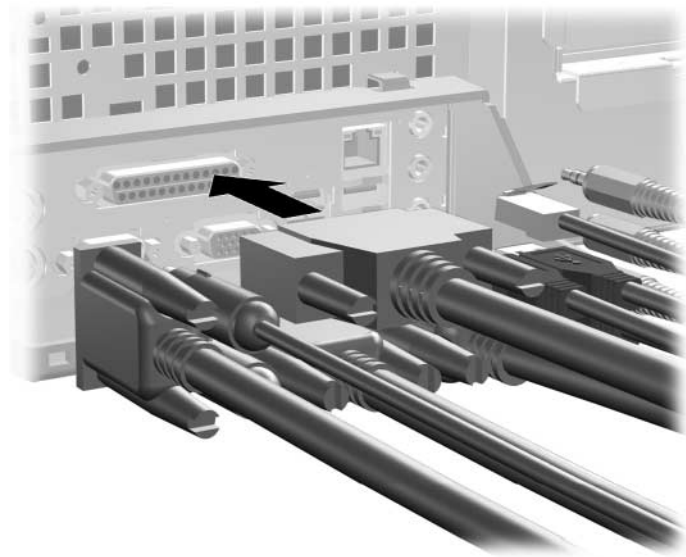
ポート セキュリティ ブラケット

ポート セキュリティ ブラケットの取り付け

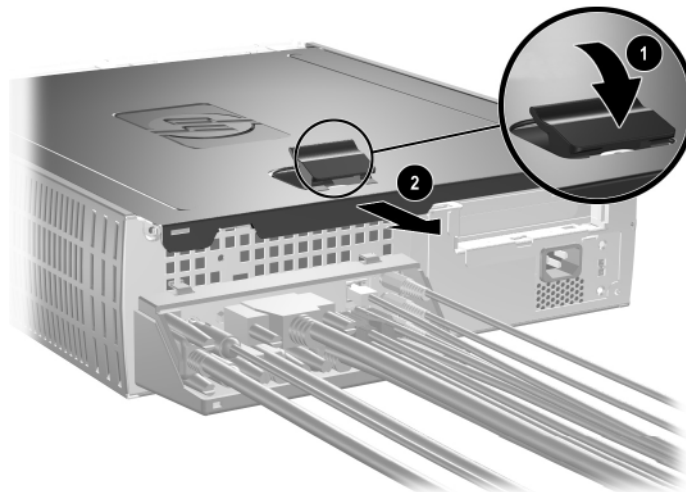
1. ポート セキュリティ ブラケットの下側部分にあるタブを、シャーシの背面のスロットに差し込み①、ブラケットをシャーシの方向に回転させます②。



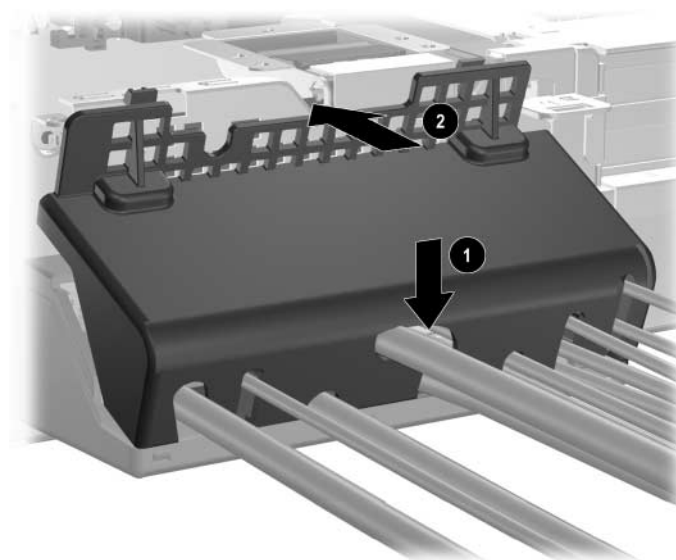
2. コンピュータにケーブルを接続します。



3. コンピュータの上部にあるカバー ラッチを引き上げたままにし①、コンピュータのアクセス パネルの固定を解除します。
4. コンピュータのアクセス パネルを後方へ約1.3 cmスライドさせてから②持ち上げて、シャーシから取り外します。



5. ポート セキュリティ ブラケットの上側部分をケーブルの上に配置し①、
ブラケットを回転させて所定の位置に固定します②。

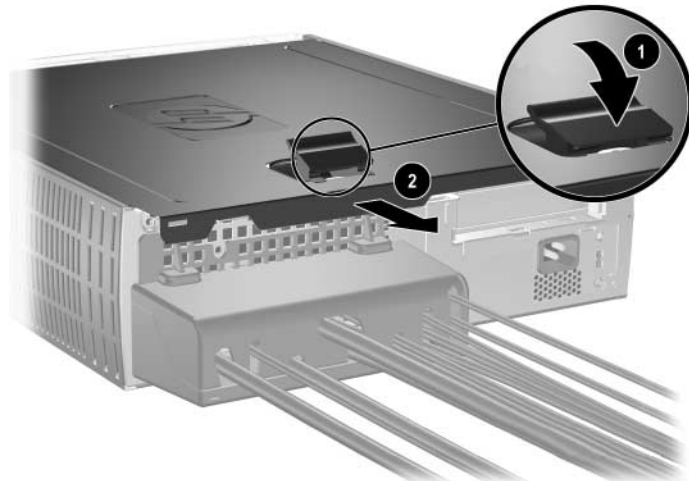


6. コンピュータのアクセス パネルを、元のとおりに取り付けます。

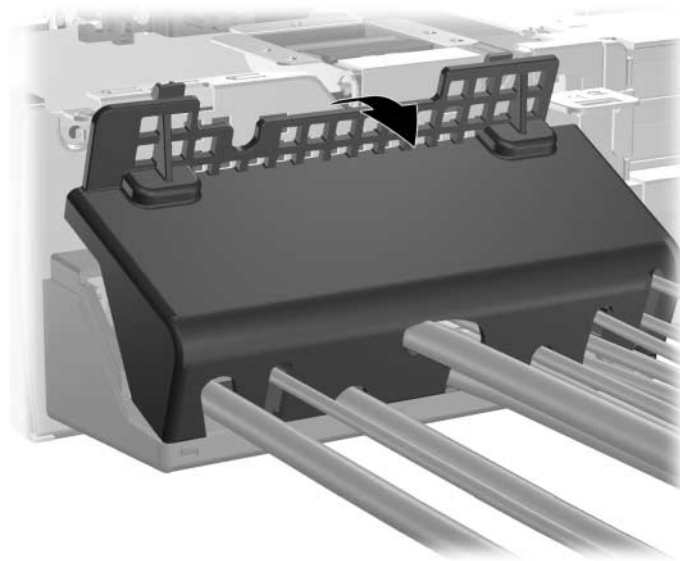


ポート セキュリティ ブラケットの取り外し

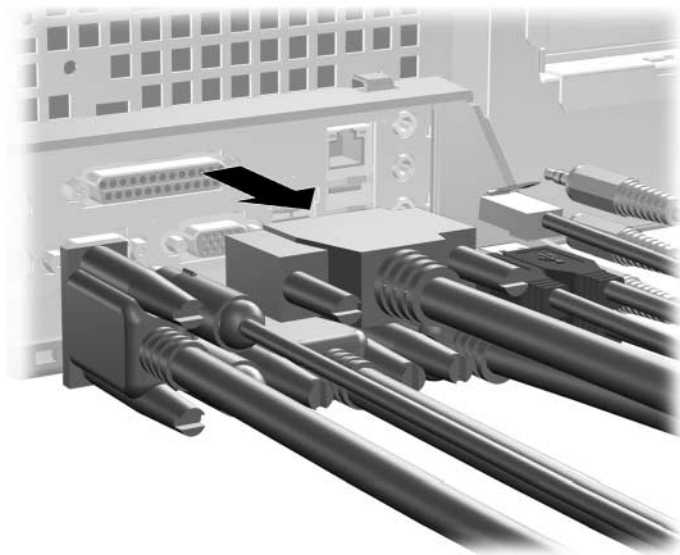
1. コンピュータの上部にあるカバー ラッチを引き上げたままにし①、コンピュータのアクセス パネルの固定を解除します。
2. コンピュータのアクセス パネルを後方へ約1.3 cmスライドさせてから②持ち上げて、シャーシから取り外します。



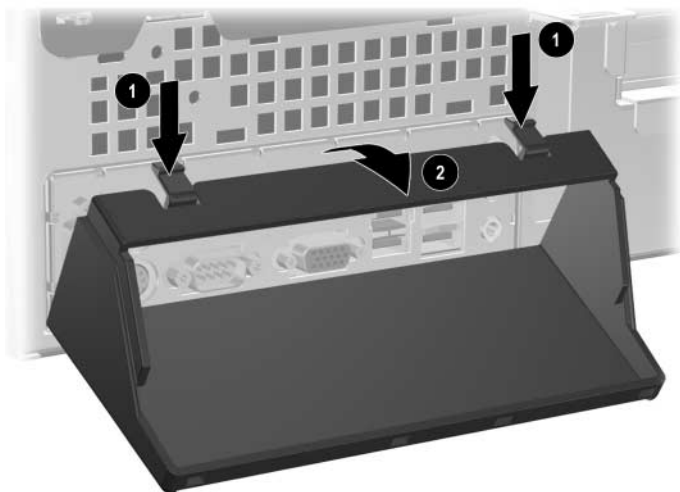
3. ブラケットの上側部分を回転させてシャーシから取り外します。



4. ケーブルをコンピュータから取り外します。



5. タブを押して①ブラケットの下側部分をシャーシから取り外します。ブラケットを回転させて、シャーシから離します②。



静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピュータのシャーシにアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアース バンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

コンピュータの手入れと運搬時の注意

コンピュータの手入れ

コンピュータとモニタが安定して動作するよう、以下のことを守ってください。

- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピュータの背面とモニタの上部に、少なくとも7～8 cmの空間を確保してください。
- コンピュータのカバーやサイド パネルを取り外したまま使用しないでください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピュータの正面にある通気孔をふさがないでください。キーボードをデスクトップ構成の本体のフロント パネルに立てかけることも、お止めください。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。コンピュータを使用する際に推奨される温度範囲と湿度範囲については、このガイドの「付録A 仕様」を参照してください。
- コンピュータ本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- 以下の項目については、必ずコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピュータやモニタの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、けばだたない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピュータの正面と背面の通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

オプティカルドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

クリーニングの際の注意

- フロント パネルやスイッチ類が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。決して、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピュータの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いて、HPのサポート窓口に応相談を依頼してください。

運搬時の注意

コンピュータを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをCD、テープ カートリッジ、またはディスクットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。



ハードディスク ドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. ディスクット ドライブにディスクットが挿入されている場合は取り出して、別の空のディスクットを挿入して運搬中のドライブを保護します。データを保存したディスクットや保存する予定のディスクットは使用しないでください。
3. オプティカル ドライブにメディアが挿入されている場合は取り出します。
4. コンピュータと外部装置の電源を切ります。
5. ACコンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピュータからも抜き取ります。
6. 外部装置の電源コードをACコンセントから抜いてから、外部装置からも抜き取ります。



すべてのボードがスロットにしっかりとはめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げの時にコンピュータが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピュータとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。



運搬中の環境条件については、このガイドの「付録A 仕様」の非動作時の項目を参照してください。

索引

数字

| | |
|--------------------------------|------|
| 3.5インチ ドライブ ベイ | 2-25 |
| 3.5インチ ハードディスク ドライブ アップグレード | 2-22 |

C

| | |
|----------|-----|
| [Ctrl]キー | 1-4 |
|----------|-----|

D

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| DDR-SDRAM | 2-6 |
| DIMM | 2-6 |
| DIMM (デュアル インライン メモリ モジュール) 取り付け | 2-9, 2-11 |

P

| | |
|----------------------|--|
| PCIカード 「拡張カード」を参照 | |
|----------------------|--|

R

| | |
|-----------|-----|
| RJ-45コネクタ | 1-3 |
|-----------|-----|

U

| | |
|-----|----------|
| USB | 1-2, 1-3 |
|-----|----------|

W

| | |
|--------------|----------|
| Windowsロゴ キー | 1-4, 1-5 |
|--------------|----------|

あ

| | |
|-------------------------|----------|
| アクセス パネル、取り外し | 2-2, 2-4 |
| アップグレード ガイドライン | 2-1 |
| アプリケーション キー | 1-4 |
| イージー アクセス ドライブ ベイ 回転 | 2-10 |
| 取り外し | 2-22 |
| イージー アクセス ボタン | 1-4 |
| オーディオ コネクタ | 1-3 |
| オプティカル ドライブ ATA | B-2 |
| 位置 | 1-2 |
| ガイド用ネジ | 2-19 |
| ガイドライン | G-2 |

| | |
|---------|------------|
| ケーブル | 2-21 |
| 使用上の注意 | G-2 |
| 取り出しボタン | 1-2 |
| 取り付け | 2-19 |
| 取り外し | 2-17, 2-18 |

か

| | |
|---------------------------|------------|
| ガイド用ネジ | 2-19 |
| ガイドライン 運搬時の注意 | G-3 |
| オプティカル ドライブ コンピュータの手入れ | G-2 |
| ドライブの取り付け | G-1 |
| 取り付け | 2-15 |
| 取り外し | 2-1 |
| バッテリーの交換 | C-1 |
| 拡張カード、取り付け | 2-12, 2-14 |
| 拡張スロット カバー、取り外し 各部 | 2-13 |

| | |
|---------------|-----|
| キーボード | 1-4 |
| フロント パネル | 1-2 |
| リア パネル | 1-3 |
| [カタカナ ひらがな]キー | 1-4 |
| キーボード 各部 | 1-4 |
| ポート | 1-3 |

| | |
|----------------------|------|
| ケーブル オプティカル ドライブ | 2-21 |
| ケーブルの接続 | 2-21 |
| ケーブル ロックの取り付け | D-1 |
| コンピュータ スタンド | 2-3 |
| コンピュータの手入れ | G-1 |
| コンピュータの手入れに関するガイドライン | G-1 |

さ

| | |
|-------------|-----|
| 仕様 | A-1 |
| シリアル コネクタ | 1-3 |
| シリアル番号の記載位置 | 1-6 |
| ステータス ランプ | 1-4 |
| スペース バー | 1-4 |

| | | | |
|---------------------|------------|--------------------|------------|
| スリムタワー、取り外し | 2-3 | な | |
| 静電気 | 2-1, F-1 | 南京錠、取り付け | D-2 |
| セキュリティ ロック | D-1 | は | |
| 装着 | | ハードディスク ドライブ | |
| ボタン型バッテリー (タイプ1) | C-2 | 3.5インチ | 2-22 |
| ボタン型バッテリー (タイプ2) | C-4 | PATAケーブル | B-2 |
| た | | PATAの取り付け | 2-27, B-1 |
| ディスクレット ドライブ | | アップグレード | 2-22 |
| 取り出しボタン | 1-2 | 取り外し | 2-22, 2-23 |
| 取り外し | 2-18 | 復元 | 2-24 |
| ランプ | 1-2 | ランプ | 1-2 |
| 電源 | | バッテリー | |
| コード コネクタ | 1-3 | ボタン型 (タイプ1) | C-2 |
| ボタン | 1-2 | ボタン型 (タイプ2) | C-3 |
| ランプ | 1-2 | バッテリーの交換 | C-1 |
| ドライブ カバー、取り外し | 2-26 | パラレル コネクタ | 1-3 |
| ドライブの位置 | 2-16 | [半角/全角]キー | 1-4 |
| ドライブの取り付けに関するガイドライン | 2-15 | フロント パネル、取り外し | 2-2, 2-5 |
| ドライブ ベイ | 2-10 | フロント パネルの各部 | 1-2 |
| 取り出し | | ヘッドフォン | |
| ボタン型バッテリー (タイプ2) | C-3 | コネクタ | 1-2 |
| 取り付け | | ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ | 1-3 |
| DIMM | 2-11 | 編集キー | 1-4 |
| ガイド用ネジ | 2-19 | ポート セキュリティ ブラケット | |
| 拡張カード | 2-12, 2-14 | 取り付け | E-1 |
| ケーブル ロック | D-1 | 取り外し | E-4 |
| 南京錠 | D-2 | 保守機能 | 2-1 |
| ハードディスク ドライブ | 2-27 | ボタン型バッテリー | |
| ポート セキュリティ ブラケット | E-1 | タイプ1 | C-2 |
| メモリ | 2-6 | タイプ2 | C-3 |
| 取り付けに関するガイドライン | 2-1 | ま | |
| 取り外し | | マイク コネクタ | 1-2, 1-3 |
| 3.5インチ ハードディスク ドライブ | 2-22 | マウス | |
| アクセス パネル | 2-4 | コネクタ | 1-3 |
| イージー アクセス ドライブ ベイ | 2-22 | 特殊機能 | 1-6 |
| オプティカル ドライブ | 2-17, 2-18 | メモリ | |
| 拡張スロット カバー | 2-13 | 確認 | 2-11 |
| コンピュータのアクセス パネル | 2-2 | 仕様 | 2-6 |
| スリムタワー | 2-3 | ソケットの位置 | 2-7 |
| ディスクレット ドライブ | 2-18 | デュアル チャネル モード | 2-7 |
| ドライブ カバー | 2-26 | 取り付け | 2-6 |
| ハードディスク ドライブ | 2-23 | モニタ コネクタ | 1-3 |
| フロント パネル | 2-2, 2-5 | ら | |
| ポート セキュリティ ブラケット | E-4 | リア パネルの各部 | 1-3 |
| ボタン型バッテリー (タイプ1) | C-2 | ロゴ キー | 1-4 |
| | | ロック | D-1, D-2 |